

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価						
よく考え、工夫する子ども	笑顔あふれる 中塩田の子	・子どもたちは音楽会・運動会など大きな行事に前向きに取り組み、やり遂げた達成感を得ることができた。また、仲よし学級などの異年齢との交流が、十分に行え高学年は低学年に優しく接する姿が見られた。1学期、評価の低かった交流活動は、2学期に各学年で実施でき、地域の方々と触れ合うことができた。評価が下がった「楽しくけじめのある学校生活」に関しては、地域・家庭と連携して具体的な手立てを考えて取り組んでいきたい。						
人やものにやさしい子ども		今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
進んで取り組み、やりぬく子ども		① よく聴いて、自分の考えを書ける子(振り返り・ノート)	全校集会での聴く姿勢が、大変よくなり静かに集会を行うことができた。自分の考えを書ける児童は増えてきているが、個人差も見られるので継続的に指導していく必要がある。		○			振り返りの時間を確保できる授業計画を立てる。ノートをチェックして評価および励ましをしていく。
		② 自分から挨拶し、相手を大切にすること(温かい言葉・思いやり)	教師から進んで挨拶をしたところ、昨年より積極的に元気のいい挨拶ができるようになってきている。			○		挨拶するとともに一声そえることで、挨拶する事に喜びを感じられるようにする。
	③ 活動や作業に一人でもこつこつ取り組む子。(黙々活動)	係活動や無言清掃に取り組んでいる児童が増えてきて定着しつつある。係活動なども進んでできていた。			○		こつこつと取り組めた時に、認める言葉がけをする。自発的な活動になるよう促していく。	

領域	対象	評価の観点	評価方法	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
重点目標	①	わかりやすい板書	アイウエオ	どの子にも見やすく写しやすく整理された板書を心がけた。さらに簡潔で、わかりやすい板書になるよう工夫していく。		○			学習問題は四角で囲み、分かりやすく書くよう心がける。大事どころ、まとめを必ずきちんと板書し、分かりやすくする。
		振り返りの時間の確保	アイウエ	時間の確保はできたが、自分で文章化できる児童が少なく、言語化することに課題が見られた。(低学年) 定着問題に時間をかけたので、時間確保が難しかった。(高学年)				○	振り返りの時間がとれるよう授業展開を工夫していく。
		家庭学習の充実	アイウエ	自主学習が定着しつつある。内容や質によってコメントを書いている。家庭学習種について、保護者と連携することで定着する児童も見られた。			○		自主学習では、できている児童を紹介し、やり方や内容の質を上げていく。「つむぐ」を活用し、さらに家庭との連携を深める。
	②	楽しくけじめある学校生活	アイウエオ	姿勢の悪い(じきに悪くなる)児童がやや多いので、その都度声がけをしているが、なかなか改善されない。あいさつや休み時間の廊下歩行にまだ課題が見られる。				○	学年集会で、学年の目指す姿を目標に掲げ、学年全体で取り組んでいく。姿勢については、専門の方の指導を取り入れていく。
		異年齢の友だちとの活動	アイウエ	仲良く給食、ペア読書などができた。高学年は、ペア学級の児童を楽しませよう・喜ばせようという意識の強い児童が多い。6年生は1年生に対する思いやりが随所で見られた。	○				児童会活動の一環として、ペア活動を継続していく。
		交流活動の充実	アイウオ	各学年で園児さんとの交流会・保育園との交流会・デイサービスやケアセンターとの交流会を計画実施できた。			○		3学期も再訪問し、交流を深められた。引き続き塩田中央保育園の年長さんとの交流を行っていききたい。
	③	よく考え行動する児童の育成	アイウ	児童によって個人差が見られるが、全体的には話を聴く姿勢が育ってきた。自ら気づいて行動するのは、なかなか難しい。			○		教師が話す言葉を容易に端的にする。気づいて行動できた児童を認め、広めていく。
		体力向上の継続的な活動	アイウ	無理なくマラソン月間に取り組めた。マラソン大会に向けてマラソンカレンダーや学年練習をしながら、意欲的に取り組むことができた。マラソン月間の方法には改善が必要。				○	授業開始時に行うマラソンやサーキット運動を続けていく。縄跳びを続けることで技能と体力の向上を図る。
		仕事に対する意識の醸成	アイウエ	清掃活動や当番活動・係活動、花壇での花作り等を通して役割を担うことの大切さや仕事に対する意識を醸成したか。			○		できていることやがんばっていることを認め、さらに仕事に対する意識の醸成を図る。
学校運営	地域との連携	アイエオ	読み聞かせやチャレンジタイム、親父の会などの皆さんのおかげで充実した学習ができた。チャレンジタイムは、個別の指導に対応でき、大変ありがたかった。			○		今までの活動を継続しつつ、さらに連携をして充実した学習ができるように連携を進めていく。	
	学習指導	アイウエオ	実物投影機を使い大型テレビに映し出すなど、視覚支援に心がけた。「視覚支援」「言葉は端的に」を意識して授業にのぞんだ。			○		発問、指示を明確にする。情報を絞ってわかりやすくする。コース別学習は有効なので、継続して取り組んでいく。	
	研修	アイ	社会科係では郷土研修の企画実施ができた。金融教育では公民館での教材研究を行い、児童の意識を考えて授業作りができた。学び合う時間が、なかなかとれなかった。			○		授業のUD(ユニバーサルデザイン)化をさらに進めて、みんなが分かりやすい授業作りを進めていく。	
	生徒指導	アイウエオ	なかよしアンケートを用いた相談を行うことができた。何か問題が起きた時は、すぐに対応・連絡報告ができるよう意識してきた。			○		今後も全職員で児童の姿をよく見て情報を素早くキャッチできるようにしていく。クラスや学年の実態を全校で共有し、防止のために共通理解をしていく。	

評価方法 ア・・・教師自身による評価 イ・・・学校長による評価 ウ・・・児童による評価(アンケート) エ・・・保護者による評価(アンケート) オ・・・学校関係者・学校評議員による評価(アンケート)





